

Ⅱ． 総合分担研究報告書

1. コンテンツ班：動画・ホームページの作製

研究代表者 立道 昌幸

東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授

職域における科学的根拠に基づくがん検診の社会実装に関する研究

コンテンツ班：動画・ホームページの作製

研究代表者：立道昌幸 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授

研究要旨：保険者や事業主が職域において任意でがん検診を企画・実施する際に、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を参照し、科学的根拠に基づくがん検診および適切な精度管理の実施を支援することを目的として、がん検診専門家により 5 種類のマニュアルに基づくがん検診内容および精度管理について普及啓発を図る動画資料を作成した。さらに、これらの動画資料を活用し、保険者、事業主、産業医等を対象として、「科学的根拠に基づくがん検診」の実施および精度管理に関する普及啓発を目的とした研修会を実施した。また、職域のがん検診に関与する各ステークホルダーに対しての課題点を抽出して解決策を検討した。

本研究班は、コンテンツ作成班として「職域におけるがん検診に関するマニュアル」に関して、導入編、完全解説、簡易解説動画、5 つのがん検診の詳細な検診に関する対象者、検査内容、判定、精密検査までの一連の内容、精度管理の解説と実施方法、労働者に対する動画作成、産業医に対する啓発資料作成を行い、事業主、健保組合のがん検診担当者、産業医等への啓発活動を実施した。動画は時間が長くなると視聴してもらえなくなることから必要事項のみにとどめ、それらを補完することを目的としてホームページ（HP）「はたらく人のがん検診ガイド」を作成し、全ての情報を集約した。さらに、確保した普及ルートを用いて HP の URL を全国に配信し普及を図るとともに、その効果検証も併せて行った（別途分担報告書を参照）。また、各分担者がそれぞれの立場によりがん検診に関与するステークホルダーに対して研修会を行い、啓発活動を実施した。

研究分担者：高橋宏和 国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策研究所
検診研究部検診実施管理研究室・研究員

研究分担者：佐川元保 東北医科薬科大学・医学部・客員教授

研究分担者：青木大輔 慶應義塾大学・医学部・名誉教授 / 赤坂山王メディカルセンター 院長

研究分担者：松田一夫 公益財団法人福井県健康管理協会・がん検診事業部長

研究分担者：笠原善郎 恩賜財団福井県済生会病院 病院長

研究分担者：中山富雄 国立研究開発法人国立がん研究センター・がん対策研究所検診研究部
特任部長

研究分担者：加藤勝章 公益財団法人宮城県対がん協会・がん検診センター所長

研究分担者：小川俊夫 学校法人常翔学園 摂南大学・農学部・教授

研究分担者：齊藤英子 国際医療福祉大学三田病院・予防医学センター・講師

研究分担者：森定 徹 杏林大学・医学部・産科婦人科学教室・教授

研究分担者：泉 陽子 東北大学東北メディカル・メガバンク機構・健康政策分野・教授

研究分担者：南谷優成 東京大学医学部附属病院放射線科・助教

研究分担者：深井航太 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学・准教授

研究協力者：中澤祥子 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学・助教

研究協力者：古屋佑子 東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学・講師

A. 研究目的

平成 30 年 3 月に「職域におけるがん検診に関するマニュアル」が公表され、保険者や事業主ががん検診を任意で実施する際に、職域におけるがん検診が効果的に行われるために、科学的根拠に基づくがん検診の普及啓発が進められている。しかし職域におけるがん検診の受診状況調査によれば、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」の認知、活用状況は十分ではなく、職域におけるがん検診の精度管理、精密検査受診率の向上に関する取組みについては、対策を講じる必要がある。

コンテンツ作成班では、保険者や事業主ががん検診を任意で実施する際に、保険者や事業主に対して、「職域におけるがん検診に関するマニュアル」を反映した、5つのがん検診の検診内容と精度管理の普及啓発を図った、永続的に利活用できる動画資料を作成することを目標とした。また、作成した動画資料を用いて、保険者や事業主、産業医等を対象に、職域におけるがん検診に関する研修会を実施することを目的とした。

「職域におけるがん検診に関するマニュアル」導入、完全、簡易版の3つの普及版と、精度管理に関する動画を作成するとともに、その動画をまとめ、職域のがん検診を企画する場合に必要な情報の集約を目的としてホームページを作成し、確保した普及ルートを用いて配信を行った。

B. 研究方法

1) 動画作成フロー図を作製し、それに基づき動画作成を実施

職域において望まれるがん検診像を示し、それに基づき啓発ができるように各動画作成を行った。

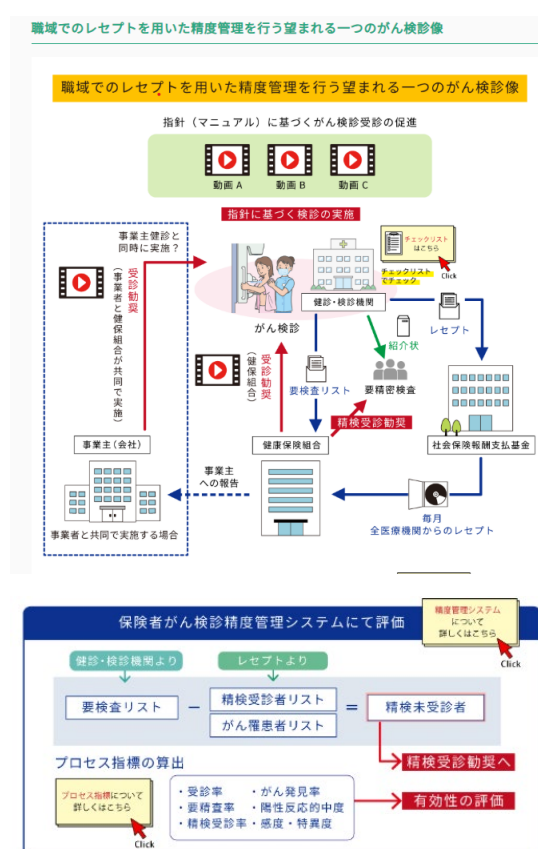
動画 A は、マニュアルが存在してそれを参考にするこ

とが大切であるという導入動画

動画 B は、動画 A の完全版の長編動画

動画 C は、マニュアルを説明した全体動画となっている。

また、各がん検診については、その対象年齢、項目、判定医の資格要件などを詳細に理解できるよう、5つのがん検診それぞれに対応した動画を作成した。



職域では、若年者に範囲を広げてがん検診をすることが多い。この点のデメリットを説明。

- ① 検診の利益については、基本的に死亡率減少効果を期待するものであるが、事前の調査において、職域ではこのワードは受け入れにくいことが示されたため、表現を考慮する

- ② 早期復職、早期パフォーマンスの回復、QOLの確保、医療費の側面からの効果を期待することを追記
- ③ 福利厚生ではなく、保健事業として実施する必要性
- ④ がん検診を実施するのであれば、事業評価を行う必要性
- ⑤ プロセス指標とは何か？
- ⑥ 精度管理という言葉が一般的にわかりにくいことから、事業評価するというワードに統一
- ⑦ 第3期データヘルス計画には、精査受診率の向上が加算・減算の項目に入っていることからこの点を強調する

職域でのがん検診の精度管理の課題について

精度管理という概念の理解が進むように動画を作成し、チェックリストの作製（分担者齊藤参照）と動画作成を行った。

フローとしては、レセプトを用いた保険者ががん検診精度管理システムの利用の有無により分岐し、健保組合が精検受診勧奨を実施する際の留意点をまとめた動画Eを作成した。

会社で精検受診勧奨する場合の留意点に関する動画の作成

職域においてがん検診の精査勧奨をすすめる上で重要なのが、職制を関与させるかどうかである。つまり事業主の関与が得られることで、精査勧奨の効率が高くなることから、この問題について日本産業保健法学会の特命委員会の中で議論され論文とした内容について、動画Fを作成した。

精度管理に関する動画

「精度管理」の実施について触れられているが、チェックリストも自治体を対象にしており、精度管理自体もどのように実施するべきか？の記述も

なく、「精度管理」そのものは、職域では理解しがたい内容となっている。そのため、本研究ではまずは精度管理とはどのようなものであるのかの理解を深めることを目的に、「精度管理」について実施主体が事務職であることを念頭に、動画を作成した。

動画の作成

動画のコンテキストを作成し、各専門家（分担者）から意見を募り、デルファイ式に数度その行き来をすることで、合意形成を図り内容を決定した。

なお、動画は長いと視聴する側に負担がかかることから、動画では重要な部分を解説し、詳細はホームページで補足した。

C. 結果

1) コンテンツの作成と動画作成

- ① がん検診導入に際してマニュアルに基づき実施する必要性を訴えた導入動画（動画A）
 - ② 「職域におけるがん検診に関するマニュアル」完全版の作成（動画B）
 - ③ 「マニュアル」の普及版（動画C）
 - ④ 各指針に基づくがん検診の対象年齢、検査方法、診断医の要件、判定結果、その後の対応に関する完全動画
 - ⑤ 精検受診勧奨の留意点の動画
健保組合が精検受診勧奨する場合の注意動画（動画E）
 - ⑥ 会社で精検受診勧奨する場合の留意点（動画F）
 - ⑦ 社員用の啓発動画
 - ⑧ 精度管理に関する説明動画
- ならびにそれらを補完するHPの作成を行った。



<https://seika2.med.u-tokai.ac.jp/index.html>



これらの動画を掲載したHPの URL を以下のルートで配信を行った。

- 1) がん対策企業推進アクションのパートナー企業に5000社に対して
- 2) 全国労働者連合会加盟団体を通じて、受託企

業、健保に対して

- 3) 保険者機能推進する会の参加健保に対して
- 4) 健診代行機関を通じて、取引のある会社、健診機関、健保組合
- 5) これまで実施した研修会へ参加した健保に対する認知度に関する評価については、別途方法論を含めて研究協力者である酒井洸典から報告する。



事業評価の仕方（がん検診の精度管理）



がん検診を保健事業として評価すること（精度管理）について、こちらの動画で解説しています。

動画を詳しく解説 >>

がん検診精度管理システムを使用しますか？

はい

いいえ

次に進んでください。

がん検診精度管理システムを使用しない場合は、健康保険組合から受診勧奨を行ってください。

はたらく人のがん検診ガイド

職域におけるがん検診に関するマニュアル

トップページ 暮らしの検診のあり方 検診・検診のご活用へ 5大がん検診について 社員の方へ 産業医の方へ 検診機関へ

社員の方へ

指針に基づくがん検診を受けましょう

がん検診を受ける社員の方にも知っていただきたいのが、検診のデメリットとしての「偽陽性」の存在です。年齢によっては、偽陽性のリスクが高くなる場合があります。偽陽性とは、検診で陽性でも、がんが見つからない場合のことを言います。検診で、陽性と判別すると不安な気持ちになったり、精密検査を受診するために病気の予め、受診、結果の説明をうけるために検査費用を多く費用がかかります。従って、偽陽性はなるべく少なくすることが重要です。同時に測定されている年齢より若い人ががん検診を受ける偽陽性の率が低くデメリットが増えます。がん検診を効果的に受けるためには、偽陽した検診に基づいて正しい方法で受診することが重要です。

これらの情報は社員への教育資料としてお使いください。

①は説明動画、②は具体的な場面を想定した動画、③は少しさらりた動画です。対象者に合わせてご利用ください。

① 陽性だけどがんじゃない！？偽陽性というデメリットをご存じですか？



がん検診は「二段階検診」で行います。がんを見つけるにはまず、がんの疑いを取り込み、その後精密検査をします。精密検査後、がんが見つからなかったケースを「偽陽性」といいます。

偽陽性の主な原因は、「検診精度」と「有病率」です。たとえば30歳の若者では、胃がんの有病率は5万人に1人と低いので、陽性でも本当にがんの可能性は低く、偽陽性が多くなります。

「がんの疑いがある」と判別されると、心理的に不安になったり、精密検査の予約、受診、結果説明など、何回も病院に行くため、経済的、精神的負担がかかります。特にやさしい検査ができ、負担が軽減するメリットがありますが、年齢より若年者からがん検診を受けることは、偽陽性のリスクが高くなる可能性があります。

はたらく人のがん検診ガイド

職域におけるがん検診に関するマニュアル

トップページ 暮らしの検診のあり方 検診・検診のご活用へ 5大がん検診について 社員の方へ 産業医の方へ 検診機関へ

産業医の方へ

産業医研修用

職域で求められるがん対策

資料ダウンロード



以下に産業医研修用で使用する資料を掲載しました。

内容は、

- 職域でのがん検診の必要性
- 職域でのがん検診の計画の立て方
- 職域で必要ながん検診
- 職域で求められるがん検診
- 職域でのがん検診のメリット・デメリット
- がん検診の精度管理（検診精度・検診精度管理とは）
- 検診実施状況を把握して取り巻く環境を整えること

で構成されています。

検診も産業医の先生方には資料を見て頂き、講師として資料を産業医研修会で活用して頂くことも、この資料の目的の一つとして頂くことが可能です。広くご利用下さい。

はたらく人のがん検診ガイド

職域におけるがん検診に関するマニュアル

トップページ 暮らしの検診のあり方 検診・検診のご活用へ 5大がん検診について 社員の方へ 産業医の方へ 検診機関へ

検診機関へ

ホーム > 検診機関へ

<職域検診> 検診実施機関用のチェックリストです。

胃がん検診のためのチェックリスト	大腸がん検診のためのチェックリスト
肺がん検診のためのチェックリスト	乳がん検診のためのチェックリスト
子宮頸がん検診のためのチェックリスト	



D. 考察

①がん検診企画者用動画作成について

「職域におけるがん検診に関するマニュアル」では、職域での指針に基づくがん検診の実施と精度管理が求められている。しかし、特に課題となるのは、がん検診の開始年齢を若年者から実施している点（過剰検診）と女性の検診における頻度の問題（毎年）である。この課題の中には、検診はサービスであるという根強い思考がある。

そこで、職域におけるがん検診の企画・運用にあたっての現状の課題とその解決に資する情報提供手段として動画を用いた。がん検診に関する専門的知識を有しない非医療職の企画担当者が理解しやすい形で、がん検診の意義、制度的背景、精度管理の必要性を短時間で伝えるための構成と配慮を行った。この導入動画において、興味を引き立てるように内容をコミカルにするなど、マーケティングの専門家と協議して作成した。この2分弱の動画には、ほぼ必要とされるメッセージが含まれている。

また、マニュアルに関係した内容を詳細に説明した動画を作成し、企画者に充分背景から伝わるように作成した。

職域でがん検診を企画・実施する主体の多くは健康保険組合であり、その担当者の多くは非医療職である。そのため、医療職にとっても十分に理

解されていない「がん検診の利益・不利益」「過剰診断の問題」「精度管理」などの概念を正確に伝えるには、緻密なコミュニケーション技法が必要であり、伝達手段の工夫が求められた。

本動画の目的は以下の通りである：

- 職域でがん検診を導入・運用する担当者に対して、がん検診の本質的な目的と評価方法を正しく伝える。
- 検診について企画し補助することで終了ではなく、その後については、検診機関に丸投げするのではなく、検診全体の運用が効果的になっているのかを管理するまでの責務があること、すなわち精度管理の概念の理解を促す。
- 精度管理や事業評価の意義を理解してもらい、継続的かつ質の高い検診実施を促す。
- 健保組合がデータ活用やフォローアップを適切に実施できるよう、動機づけと実践的な支援を行う。

非医療職への専門知識の伝達

がん検診の目的が「死亡率の減少」であることは科学的に明確である一方、職域では「死亡率減少効果」という表現に対して心理的な抵抗感がある。そのため、使用する用語には配慮が必要である。

また、過剰診断や検診精度の問題、フォローアップの意義など、職域の企画者が即座に理解しにくい専門的内容が多いため、平易な表現と図解的な説明が求められる。職域では若年者へのがん検診の適応が問題であることから、偽陽性のデメリットを強調することとした。

任意実施に伴う目的の多様化

法的義務のない職域がん検診においては、「早期復職」「パフォーマンスの早期回復」「医療費の軽減」といった職場側の利益も重要な実施動機となる。そのため、これらの目的を肯定的に位置づ

け、検診導入の合理性を示す必要がある。

「精度管理」という用語が「検査精度（検体分析精度）」と誤解されることが多く、事業主や健保組合が介入すべき内容として認識されていない。実際には、精度管理とは「がん検診という介入プログラムの効果性を維持・評価する」活動であり、事業評価の一環であることを理解してもらう必要がある。

職域では検診の「実施」自体が目的化しており、要精検者の受診やがん発見に至るプロセスが十分に追跡されていない。むしろ、要精検者の精検受診後については、医療機関からの情報提供が必要であることから、個人情報保護の観点から入手が困難な状況である。重要な評価指標である「要精検受診率」が軽視されており、「やりっぱなし検診」への懸念が高まっている。

動画構成のポイント

非医療職にも理解しやすい用語・図解の活用

検診の目的（死亡率減少）を柔らかく説明しつつ、企業側にとっての利点（復職支援・医療費削減）を明確化し、精度管理を「事業評価」として再定義し、その意義と手段を簡潔に紹介した。

データ活用の重要性と、そのための電子的管理の課題と対策に言及した。重要な評価指標である「要精検受診率」についてフォーカスした。

精検勧奨動画E Fについて

がん検診において効果を高める重要な指標が精検受診率であり、その指標を高めるためには精検受診勧奨が重要である。従って本動画では、職域でのがん検診の主な主体である健保組合と事業者における精検勧奨に関する推進と注意動画E、Fを作成した。

<健康保険組合（以下健保）が実施する場合の注意点>

多くのがん検診は健保が主体となっているため、

健保組合からの精検勧奨が主体となる。この場合の注意点は、多くが安全衛生法に基づく定期健康診断と同時に受診する場合が多いことから、がん検診の結果が健保に共有され健保から精検受診勧奨が行われる点を受診者に周知しておく必要がある。この場合の情報共有に関する課題は、検診機関から健保組合への情報提供が第三者提供になるかどうかである。実施主体が健保であれば、健康保険組合に向けて厚労省が提供している Q&A においては第三者提供にはならず、HP 等でその取得と利用目的を記せばよいとの記述がある。しかし実運用上では労働者が検診の主体が事業主か健保組合であるかの理解は乏しいこと、健保組合の情報管理に関する説明文を全ての労働者が把握していることはないので、検診予約時に検診機関または中間業者によって、健保組合に情報提供される同意がなされることが受診者にとっても不信感を与えないため、本動画や解説では同意を必要と解説している。

受診者への十分な周知がないと突然健保から受診勧奨が行われた場合に、自分の検診結果がどこまで伝わっているのか不安に思うことから、事前の周知が必要であり、特に組合健保では会社の衛生委員会等でこの課題について周知方法を検討しておく必要がある。

なお、本動画作成フローについては、2 つの目的でフローが異なる。

健保組合として、個別の精検受診勧奨を行うことを主眼とする場合、とデータヘルス計画の中で精検受診率向上が必要となっていることから、精検受診率を算出することを目的とする場合があり、精検受診率を算出した結果で個別の精検受診勧奨を考慮するパターンである。

＜事業者が受診勧奨する場合＞

事業者ががん検診結果を入手する場合には、法定外項目となることから注意が必要である。特に、要精検＝がん疑いという理解から、この結果が上

司や人事に知られることで不利益な人事が行われるという不安をもつ。一方で会社側も法定外の健康情報を持つことで安全配慮義務が拡大されるのではないかという不安をもっている点でこの点で両者が不安となり、進まない現状がある。従ってこの点の留意的を解説した。なおこの問題については、昨年度泉分担者が論文として公開しているので、その内容を動画化したものである。

E. 結論

マニュアルについては、指針に基づくがん検診項目と対象年齢に関する理解が必須となる。また、職域ではなじみのない精度管理の概念とその具体的手法の解説動画を作成し、これら全てを補完するためにホームページを作成することで職域のがん検診に関する全ての情報サイトを完成させ、普及させた。

F. 政策提言および実務活動

1. **南谷優成** 荒川区/城北ヤクルト販売株式会社
心と体の健康フェスタ 「おとなのがん講座」
2023/4/15
2. **南谷優成** 厚生労働省委託事業がん対策推進
アクション出張講座 ブラザー健康保険組合
「がん教育セミナー」 2023/7/6、7/20
3. **南谷優成** 厚生労働省委託事業がん対策推進
アクション出張講座 株式会社テクノ中部
「がん教育セミナー」 2024/10/22
4. **南谷優成** がん対策推進企業アクション統括
セミナー 令和 5 年度企業アクション調査報告
2024/3/1
5. **南谷優成** 一般社団法人 保険者機能を推進
する会 健診事業のあり方研究会 「がん検
診 -その受診率向上に向けた取り組み- + 社
会におけるがん教育」 2024/9/13
6. **南谷優成** がん対策推進企業アクション統括

- セミナー 令和 6 年度企業アクション調査報告 2025/3/7
7. **南谷優成** 厚生労働省委託事業がん対策推進アクション出張講座 株式会社森永乳業「がん教育セミナー」2025/3/11
 8. **南谷優成** 足立区/城北ヤクルト販売株式会社心と体の健康フェスタ 2025/5/17
 9. **南谷優成** 厚生労働省委託事業がん対策推進アクション出張講座 株式会社ヤクルト湘南化粧品工場「がん教育セミナー」2026/1/16
 10. **南谷優成** 2026/1/28 厚生労働省委託事業がん対策推進アクション出張講座 田辺ファーマ株式会社「がん教育セミナー」
 11. **南谷優成** エレクタ株式会社 がん教育ワークショップ 「がんを正しく知る、職場から広げる 企業におけるがん教育と検診の意義」2026/1/23
 12. **立道昌幸** 城北地区方面会健保研修会（約 90 健保）（7 月 3 日）オンライン
 13. **立道昌幸** けんぽ共同研修会（8 月 4 日）約 50 健保：オンライン
 14. **立道昌幸** 城内地区方面健保研修会（10 月 23 日）（約 50 健保）対面
 15. **立道昌幸** 横浜市健康経営ウェブセミナー（2 月 13 日）約 121 健保 オンライン
 16. **立道昌幸** 慈恵医大医師会研修会（5 月 25 日）700 名
 17. **立道昌幸** 横浜市医師会研修会（9 月 15 日）100 名
 18. **立道昌幸** 埼玉県大宮市医師会研修会（10 月 19 日）200 名
 19. **立道昌幸** 福岡県研修会（11 月 30）200 名
 20. **立道昌幸** 東北大学研修会（12 月 13 日）200 名
 21. **立道昌幸** 東京大学医師会（12 月 21 日）産業医研修会 220 名
 22. **立道昌幸** 神奈川産業保健総合支援センター 約 40 名
 23. **立道昌幸** 産業医大研修会（12 月 9 日、2 月 20 日）750 名（筑波）
 24. **立道昌幸** 産業医学実践研修（2 月 28 日）産業医 50 名（東京）
 25. **松田一夫** 鯖江市愛育会 あいあい鯖江“家族ぐるみの生活習慣病予防・がん予防
 26. **松田一夫** ～いつまでも元気で長生きするために～ 約 50 名 鯖江市愛育会会員 2025 年 5 月 18 日
 27. **松田一夫** 福井県越前市 越前市生涯学習センター“「えちぜん市民大学」家族ぐるみの生活習慣病とがん予防 2025 年 6 月 9 日
 28. **松田一夫** ～健康診断結果の見方とがん検診の正しい受け方～約 30 名 越前市民 “福井県坂井健康 福祉センター”Web にて”「令和 7 年度坂井地区 がん講演会」2025 年 10 月 27 日
 29. **松田一夫** 職場でのがん検診の正しい受け方” 約 30 名 “旅館の経営者、2025/10/27
 30. 県・市のがん検診担当者” 結核予防会 Web にて”「結核予防会全国支部事務局長研修会」
 31. **松田一夫** がんは決して他人事ではない～その予防、正しい 2026 年 1 月 30 日
 32. がん検診をすべての人に～”約 50 名 “結核予防会全国支部事務局長、他” 日本対がん協会 Web にて”「第 46 回保健師・看護師研修会」
 33. **松田一夫** 日本の大腸癌死亡率を諸外国並みに減少させるには、何が必要か？” 約 180 名 “日本対がん協会支部の 保健師・看護師、他”
 34. **齊藤英子**：「がん検診の受診率をめぐる話題と子宮頸がん検診での課題」、第 34 回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 シンポジウム 1、2025/10/4

35. 齊藤英子：「HPV 検査単独法マニュアルを改めて読み解く」、第 34 回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会 共催セミナー、
36. 2025/10/4
37. 齊藤英子：女性労働者の健康管理、東京科学大学医師会産業医研修会、2025/8/15
38. 齊藤英子：日本における HPV 検査単独法による子宮頸がん検診の導入、第 67 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会・Asian Society of Gynecologic 2025 (ASGO) ランチョンセミナー、2025/7/18
39. 齊藤英子：TOKYO #女子けんこう部 子宮頸がん検診普及イベント、東京都健康推進課 子宮頸がん検診普及啓発事業、2024/12/28
40. 齊藤英子：HPV 検査単独法導入に向けた精度管理、厚生労働省 HPV 検査単独法導入に向けた精度管理支援事業、2024/9/2, Web 開催。
41. 齊藤英子：HPV 検査単独法導入に向けた精度管理、厚生労働省 HPV 検査単独法導入に向けた精度管理支援事業、2024/8/30, Web 開催。
42. 齊藤英子：女性労働者の健康管理、日本医師会認定 東京都医師会・東京医科歯科大学医師会産業医研修会、2024/8/20, 東京。
43. 齊藤英子：HPV 検査単独法導入に向けた精度管理、厚生労働省 HPV 検査単独法導入に向けた精度管理支援事業、2024/8/30, 名古屋。
44. 齊藤英子：HPV 検査単独法導入に向けた精度管理、厚生労働省 HPV 検査単独法導入に向けた精度管理支援事業、2024/8/30, 福岡。
45. 齊藤英子：女性労働者の健康管理、東京医科歯科大学医師会 産業医研修会、2023/08/14、東京
46. 齊藤英子：女性労働者の健康管理、日本医師会認定 東京都医師会・中央区医師会産業医研修会、2023/7/2、東京
47. 笠原 善郎 乳がん検診に関する最近の話題 令和 5 年度 東京都がん検診従事者講習会 2024 年 1-3 月 Web
48. 笠原 善郎 令和 6 年度 東京都がん検診従事者講習会 2025 年 1-3 月 Web 乳がん検診最近の話題：J-START、ブレスト・アウェアネス、乳がん検診学会全国集計について
49. 笠原 善郎 令和 7 年度 東京都がん検診従事者講習会 2026 年 1-3 月 Web 乳がん検診に関する最近の話題：組織型検診に向けて
50. 笠原 善郎 オムロン 2024 年度健康経営・コラボヘルス企画 働く女性の健康応援セミナー 乳がんの早期発見から治療、最近のトレンド情報について Web 2025 年 1 月 29 日 2025 年 2 月 6 日
51. 高橋宏和 沖縄県令和 7 年度がん検診充実強化促進事業（「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」の一部改正について）2026 年 1 月 29 日
52. 高橋宏和 三重県がん検診推進セミナー（がん検診の企画・精度管理のポイント）2025 年 12 月 24 日
53. 高橋宏和 インサイツセミナー（がん検診受診率向上に向けた最新動向と実践事例～地域と職域をつなぐがん検診情報の新たなかたち～）2025 年 12 月 17 日
54. 高橋宏和 保険者フェスタ 2025 東京（がん検診の質を守るしくみ）
55. 高橋宏和 保険者マネジメントリーダー塾 東京（がん対策と両立支援）2025 年 11 月 20 日
56. 高橋宏和 健診事業のあり方研究会講演 東京（胃がん検診およびチェックリストについて）2025 年 10 月 17 日
57. 高橋宏和 PwC 健康保険組合 オンライン Wellbeing セミナー Web（がん検診の効果と限界）2025 年 10 月 10 日

58. **高橋宏和** 健診事業のあり方研究会講演 東京（がん検診の精度管理）2025年6月6日
59. **高橋宏和** 沖縄県令和6年度がん検診充実強化促進事業（対策型検診における HPV 検査単独法の導入と精度管理について）2025年1月31日
60. **高橋宏和** 東京都医師会令和6年度がん検診受託機関講習会（がん検診事業のあり方について）2025年1月25日
61. **高橋宏和** 20241115 健診事業のあり方研究会講演 Web（科学的根拠に基づく検診-子宮頸がん検診における HPV 検査について-）
62. **高橋宏和** 保険者マネジメントリーダー塾 2024 講演 東京（がん対策と両立支援）2024年11月8日
63. **高橋宏和** 健診事業のあり方研究会講演 Web（がん検診の精度管理）2024年6月14日
64. **高橋宏和** 沖縄県講演 Web（対策型検診の意義について）2024年2月15日
65. **高橋宏和** 女性の健康研究会講演 東京（女性のがん検診において保険者に期待すること）2023年12月22日
66. **高橋宏和** いきいきライフセミナー 兵庫県予防医学協会（大腸がんは予防できるか - がん検診の適切な受け方-）2023年9月9日
67. **中山富雄** アリルジュ 職域検診担当者オンライン研修会『2040 年問題を見据えた職域健康診断』、35 名、2026 年 2 月 27 日、
68. **中山富雄**、兵庫県県民健康講座、『よく知ろう、がん検診のいいこと、悪いこと』、兵庫県医師会館、250 名 2026 年 2 月 10 日
69. **中山富雄**、オンコロライブ、『がん検診はいつ受けるべき』、オンライン講演会、200 名 2025 年 11 月 19 日
70. **中山富雄** 福岡県がん征圧の集い、『知らないことと損、がんと健康診断』、事業所検診担当者、明治安田ホール福岡、200 名 2025 年 9 月 20 日
71. **中山富雄** NHK きょうの健康『がん検診で命を守る最新ガイド』5 つのがん検診メリット・デメリット 大腸がん・胃がん・肺がん検診 女性のがん検診 乳がん・子宮頸がん 2025 年 9 月 1-3 日
72. **中山富雄** がんノートオンライン、『がん検診って何』、がんサバイバー/がん家族、オンライン講座、120 名 2025 年 8 月 14 日
73. **中山富雄** 日本対がん協会看護師向け研修会、『がん検診事業のあり方について』、オンライン研修会、50 名 2025 年 3 月 11 日
74. **中山富雄**、小金井市市民公開講座、『がん検診の正しい知識』、小金井東センター公民館、40 名 2025 年 1/31
75. **中山富雄** 神戸製鋼健康講演会、『がんの予防と検診、正しく知ろう』、株式会社神戸製鋼本社ビル、300 名

G 学会発表

1. 森定 徹 他 HPV 検査単独検診を見据えた際の HPV 検査・細胞診の役割/ /2023/日本婦人科がん検診学会 総会・学術講演会(第 32 回)/2023 年 10 月
2. 森定 徹/アルゴリズムを含めたがん検診プログラムの精度管理/ 2023/日本臨床細胞学会総会 秋期大会(第 62 回)/2023 年 11 月
3. 森定 徹 HPV 検査単独法による子宮頸がん検診の導入について ～現状と課題～/ /2024/日本産科婦人科学会 学術講演会 (第 76 回) /2024 年 4 月
4. 森定 徹 わが国の子宮頸がん検診の状況と現在の課題/ /2024/日本がん検診・診断学会 総会 (第 32 回) /2024 年 9 月
5. 森定 徹 HPV 検査による子宮頸がん検診/ /日本がん検診・診断学会総会 (第 33 回) /2025 年 9 月
6. 森定 徹 HPV 検査を用いた子宮頸がん検診/ /日本癌治療学会学術集会(第 63 回)/
7. 佐川元保. 教育講演 12: 日本における肺がん検診の現状と展望. 第 48 回日本
8. 呼吸器内視鏡学会学術集会、2025.6.12. 仙台
9. 佐川元保、中山富雄、小林 健、西井研治、田中洋史、芦澤和人、目時弘
10. 仁、桜田 晃、for The JECS Study Group. JECS Study におけるプロトコールの変遷と全登録例の背景因子. 第 33 回日本 CT 検診学会学術集会、横浜、2026.2.13
11. 須藤恵美、小原愛美、佐藤倫広、目時弘仁、宮澤仁、高橋則晃、中山富雄、
12. 佐川元保. 肺がん検診受診後における身体的・精神的 QOL 変化の検討. 検診手法・検診結果・精密検査診断状況との関連性. 第 33 回日本 CT 検診学会学術集会、横浜、2026.2.13
13. 丸山雄一郎、芦澤和人、小林 健、鐘撞一郎、森谷浩史、中山富雄、佐川元保. 非/軽喫煙者対象の肺がん CT 検診比較試験 (JECS 研究) における E 判定 (肺がんを疑う) の CT 所見. 第 33 回日本 CT 検診学会学術集会、横浜、2026.2.13
14. 桜田 晃、坂本周三、佐川元保、齋藤泰紀. 低線量 CT による対策型肺がん検診にむけての読影医業務量の検討. 第 33 回日本 CT 検診学会学術集会、横浜、2026.2.13
15. 佐川元保、中山富雄、小林 健、西井研治、田中洋史、芦澤和人、目時弘仁、桜田 晃、for The JECS Study Group. 非/軽喫煙者に対する低線量胸部 CT による肺がん検診の有効性評価のための無作為化比較試験 (JECS Study) : プロトコールの変遷、リクルート、背景因子について. 第 66 回日本肺癌学会学術集会、東京、2025.11.6
16. 須藤恵美、小原愛美、佐藤倫広、目時弘仁、宮澤仁、高橋則晃、中山富雄、佐川元保. 肺がん検診が受診者の身体的・精神的 QOL に与える影響: JECS Study における検診モダリティ別の検討. 第 66 回日本肺癌学会学術集会、東京、2025.11.6
17. 芦澤和人、小林 健、鐘撞一郎、丸山雄一郎、森谷浩史、中山富雄、佐川元保. 非/軽喫煙者対象の肺がん CT 検診比較試験 (JECS 研究) における E 判定 (肺がんを疑う) の CT 所見. 第 66 回日本肺癌学会学術集会、東京、2025.11.6
18. 白井真里、坂本周三、佐藤亜希子、肥田泰三、野津田泰嗣、佐川元保、桜田晃、羽隅 透、齋藤泰紀. 肺癌検診における癌発見以前の画像を用いた AI 有用性の検討. 第 66 回日本肺癌学会学術集会、東京、2025.11.6
19. 佐川元保. 教育講演 10 「肺がん検診ガイドライン 2022 年版」への改訂 CT 検診を中心に. 第 64 回日本人間ドック学会学術大

- 会. 2023. 9. 1. 高崎.
20. 佐川元保、石橋直也、菅原崇史、佐々木高信、野々村遼、大島 穰、新井川弘道. 肺がん検診ガイドライン 2022 における LSCT の扱い. 第 27 回日本 C T 検診学会学術集会, 2024. 2/7. 北九州.
 21. 佐川元保. 肺がん検診の現状と課題: 低線量 CT 検診を中心に. がん征圧全国大会 2024. 2024. 9. 12. さいたま.
 22. 佐川元保. 肺がん検診ガイドライン 2022 への改訂 ―その背景と解説―. 第 64 回日本肺癌学会学術集会. 2023. 11. 2. 千葉.
 23. 宮澤 仁、小原愛美、須藤恵美、中山富雄、佐川元保. JECS Study 研究におけるコンタミネーションに関する基礎的調査: 個別アンケートからの検討. 第 27 回日本 C T 検診学会学術集会, 2024. 2/8. 北九州.
 24. 坂本周三、肥田泰三, 佐藤亜希子, 加藤剛, 菅野通, 八重柏政宏, 高橋里美, 桜田晃, 野津田泰嗣, 佐川元保, 岡田克典, 渡辺彰, 齋藤泰紀. 当法人における
 25. 胸部 X 線画像の症例集を利用した CAD の精度評価. 第 64 回日本肺癌学会学術集会、2023.11.2、千葉
 26. 齊藤英子・e-learning によるがん検診の仕組みの理解と集計データ解析による精度管理の評価の実践・第 84 回日本公衆衛生学会総会・2025 年 10 月
 27. Eiko Aoki, Kumiko Saika, Tohru Morisada, Daisuke Aoki・EVALUATION OF JAPAN'S IMPLEMENTATION OF HPV PRIMARY SCREENING USING EU RECOMMENDED LISTS・The 37th International Papillomavirus Conference・Oct.2025
 28. 横山良仁, 齊藤英子, 雑賀公美子, 森定徹, 青木大輔・HPV 陽性+細胞診 NILM の経過: 文献レビュー・第 34 回日本婦人科がん検診学会総会学術講演会・2025 年 10 月
 29. 佐野弘子, 齊藤英子・地域住民検診における子宮頸がん検診で、細胞診判定に占める ASC-US の割合が増加すると精密検査受診が低下するか?・第 34 回日本婦人科がん検診学会総会学術講演会・2025 年 10 月
 30. 齊藤英子・わが国の子宮頸がん検診の「受診」における課題 ―今こそ all Japan での取り組みを―・第 34 回日本婦人科がん検診学会総会学術講演会・2025 年 10 月
 31. 齊藤英子・アカデミックセッション「婦人科がん」① がん予防を志向したときの婦人科がんの特徴・第 33 回日本がん検診・診断学会総会・2025 年 9 月
 32. 岡田結生子, 齊藤英子, 雑賀公美子, 青木大輔・自治体と職域におけるがん検診の情報共有の可能性についての検討のためのヒアリング・第 33 回日本がん検診・診断学会総会・2025 年 9 月
 33. Eiko Saitoh Aoki・Municipality-Level Correlation of Screening follow-up Rates Between Cervical Cancer Screening and Other Cancer Screenings in Japan・Asian Society of Gynecologic Oncology・Jul. 2025
 34. 齊藤英子, 森定徹, 青木大輔・わが国の子宮頸がん検診では、HPV 検査単独法と細胞診単独法の精度管理レベルにギャップが生じている・第 77 回日本産科婦人科学会学術講演会・2025 年 5 月
 35. Eiko Saitoh Aoki, Tohru Morisada, Kumiko Saika, Daisuke Aoki・Systematic Review of Candidate Algorithms for implementing of HPV Testing in Japan's Population-Based Cervical Cancer Screening・Asian Society of Gynecologic Oncology (ASGO) 2024 Meeting・Nove.2024

36. 佐野弘子,齊藤英子,永吉陽子,上田 和,進 伸幸,相田真介・当院における子宮頸部細胞診ASC-H判定の妥当性の検討 - 生検結果の追跡 -・第 63 回日本臨床細胞学会秋期大会・2024 年 11 月
37. Eiko Saitoh Aoki, Tohru Morisada, Kumiko Saika, Daisuke Aoki・One of the Best Uses of the Checklist in Cervical Cancer Screening・The 36th International Papillomavirus Conference・Nove.2024
38. 齊藤英子,雑賀公美子・子宮頸がん検診における HPV 検査単独法のアルゴリズム【報告 1】・第 83 回日本公衆衛生学会総会・2024 年 10 月
39. 岡田結生子,齊藤英子,雑賀公美子・職域がん検診実施施設での精度管理実施状況調査の実施可能性に関する検討・第 83 回日本公衆衛生学会総会・2024 年 10 月
40. 齊藤英子,雑賀公美子,Misha Coleman,Hannah Saunders,Marion Saville・精度管理向上の理念を含有する自己採取 HPV 検査提供のあり方 -オーストラリアのストラテジーから-・第 33 回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会・2024 年 10 月
41. 岡田結生子,齊藤英子,雑賀公美子,森定徹,青木大輔,高橋宏和・住民検診と職域検診のがん検診精度管理状況の違い克服へー職域検診用「事業評価のためのチェックリスト(検診機関用)」の作成ー・第 32 回日本がん検診・診断学会総会・2024 年 9 月
42. 齊藤英子・月経自覚症状の問診による婦人科受診推奨振り分けの効率的手法の検討・第 65 回日本人間ドック学会・予防医療学会学術大会・2024 年 9 月
43. 齊藤英子,雑賀公美子,斎藤博,松坂方士・住民検診での都道府県別精検受診率の比較ー子宮頸がん検診と乳がん検診ー公表データを用いた分析・第 66 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会・2024 年 7 月
44. 齊藤英子・HPV 検査単独法による子宮頸がん検診-さまざまな委託元へのがん検診提供を念頭においた場合の留意点-・第 76 回日本産科婦人科学会学術講演会・2024 年 4 月
45. 齊藤英子,雑賀公美子,森定徹,中山富雄,青木大輔・「HPV 単独検診による子宮頸がん検診導入」について・第 31 回日本 CT 検診学会学術集会・2024 年 3 月
46. 富田圭祐,齊藤英子,五十嵐歩惟,磯前有香,永吉陽子,上田和,桂研一郎・当院での子宮頸がん検診における要精検者の精検受診率向上のためのシームレス勧奨・第 38 回日本女性医学学会学術集会・2023 年 12 月
47. 河野可奈子,雑賀公美子,齊藤英子,森定徹,青木大輔・HPV 検査の有用性を検証するコホート研究における初回検診後のアルゴリズム遵守状況・第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会・2023 年 11 月
48. 齊藤英子・がん検診の評価指標の「可視化プロジェクト」-精検受診率について-・第 82 回公衆衛生学会総会・2023 年 10 月
49. 齊藤英子,雑賀公美子,森定徹,河野可奈子,中山富雄,高橋宏和,青木大輔・日本の現状は子宮頸がん検診で HPV 検査の結果が細胞診の判定に影響する可能性がある・第 32 回日本婦人科がん検診学会・総会・2023 年 10 月
50. 小田瑞恵,齊藤英子,佐々木寛・子宮頸がん検診における HPV 検査の役割-HPV 検査導入に向けたアルゴリズムの試案-・第 32 回日本婦人科がん検診学会・総会・2023 年 10 月
51. 齊藤英子・福島原発事故での産業医学的支援実現の際の経験 -手に負えない場合の対応について-・第 41 回産業医科大学学会・産業医科大学国際センターシンポジウム・2023

年 10 月

52. 齊藤英子・職域がん検診はどう変わるか、変えていくか？職域におけるがん検診に関するマニュアルに基づく検診実施機関の精度管理・第 64 回日本人間ドック学会学術大会・2023 年 9 月
53. 磯前有香, 齊藤英子, 五十嵐歩惟, 桂研一郎・子宮頸がん検診要精検者における確実な精検受診実現のためのワンストップ勧奨・第 64 回日本人間ドック学会学術大会・2023 年 9 月
54. 進伸幸, 齊藤英子, 富田圭祐, 永吉陽子, 上田和, 渋谷亮介, 岡田智志, 片岡史夫, 永松健・若年子宮体癌症例に対する高用量黄体ホルモン療法の治療成績・第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会・2023 年 7 月
55. 齊藤英子, 雑賀公美子, 高橋宏和, 森定徹, 青木大輔・地域保健・健康増進事業データから見た子宮頸がん検診の精密検査についての課題・第 65 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会・2023 年 7 月
56. 岡田結生子, 齊藤英子, 雑賀公美子, 森定徹, 青木大輔, 高橋宏和・がん検診実施施設における住民検診と職域検診との精度管理状況の違い克服に向けての取り組み・第 31 回日本がん検診・診断学会総会・2023 年 6 月
57. 河野可奈子, 雑賀公美子, 齊藤英子, 森定徹, 青木大輔・住民検診における子宮頸がんを含む子宮頸部異常の発見率の特徴・第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会・2023 年 6 月
58. 齊藤英子, 木口一成, 小田瑞恵, 植田政嗣, 佐々木寛・検診機関用チェックリスト調査から見える子宮頸がん検診での細胞診精度管理の課題・第 64 回日本臨床細胞学会総会春期大会・2023 年 6 月
59. 齊藤英子, 小田瑞恵, 木口一成, 佐々木寛, 青木大輔・検診機関における検診委託元別の子宮頸がん検診の精度管理状況—チェックリスト充足率からの検討—・第 75 回日本産科婦人科学会学術講演会・2023 年 5 月
60. Eiko SAITOH AOKI, Kumiko SAIKA, Daisuke AOKI・Current Status and Challenges for of Cervical Cancer Screening in Japan・35th International Papillomavirus Conference・April, 2023
61. 須賀万智・職域におけるがん検診の実施方法とマニュアルの活用実態・第 61 回日本医療・病院管理学会(2024)
62. 須賀万智, 山内貴史, 柳澤裕之・働く人を対象としたがん検診に関するアンケート調査・第 83 回日本公衆衛生学会(2024)
63. Suka M, Shimazaki T, Yamauchi T, Yanagisawa H. Psychographic determinants of response to health promotion materials. MEDINFO 2025 (2025)
64. 須賀万智, 山内貴史, 柳澤裕之・がん検診の受診意図を高める働きかけとは～働く人の健康意識に関するアンケート調査・第 84 回日本公衆衛生学会(2025)
65. 五十嵐侑、増田眞子、田中優大、小田上公法、永田智久、立道昌幸、森晃爾・日本の労働者におけるがん検診に対する受診意向とその関連要因：W2S-Ohpm StudyⅢ 第 35 回日本産業衛生学会全国協議会 ポスター発表
66. 木下 智香子、平山 奈都美、桑原 佳子、大野寿弥子、小川 俊夫、祖父江 友孝・レセプトを活用した職域がん検診の精密検査受診勧奨・第 97 回日本産業衛生学会総会（2024 年 5 月 25 日、広島県広島市・広島国際会議場）
67. 木下 智香子、小川 俊夫・レセプトを活用した職域がん検診の精密検査受診勧奨・第 83 回日本公衆衛生学会総会（2024 年 10 月 31 日、北海道札幌市・札幌コンベンションセンター）

68. 小川俊夫. 就労とがん治療の両立への職域がん検診の影響に関する一考察. 第 98 回日本産業衛生学会総会 (2025 年 5 月 15 日、宮城県仙台市・仙台国際センター)
69. 小川俊夫、深井航太、古屋佑子、立道昌幸. がん治療と就労の両立に与える影響に関する一考察. 第 84 回日本公衆衛生学会総会 (2025 年 10 月 29 日、静岡県静岡市・静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ)
70. Takahashi H, Machii R. Current challenges of cancer screening in Japanese workplaces. International Cancer Screening Network 2025 (20250618) Aarhus
71. Takahashi H, Machii R. Effect of COVID-19 for cancer screening and cancer treatment in Japan. 20th International Congress On Infectious Diseases 2024 (20241203) Cape Town
72. Impact of COVID-19 for cancer screening and cancer treatment in Japan. International Asian Cancer and Chronic Disease Screening Network (IACCS) 2023 (20231216) Tokyo
73. Takahashi H, Machii R. Impact of COVID-19 for cancer screening and cancer treatment in Japan. International Cancer Screening Network 2023 (20230620) Turin
74. 高橋宏和. 組織型検診の実現に向けた課題と解決策 第 35 回日本乳癌検診学会学術総会ワークショップ座長 (20251128) 高知
75. 男澤詩保里、戸津玲、竹本覚、高橋宏和. 大腸がん検診における健保組合と自治体の精度管理体制の比較. 第 35 回日本産業衛生学会全国協議会 ポスター (20251127) 徳島
76. 町井涼子、高橋宏和、中山富雄. COVID-19 流行による対策型がん検診受診率の低下は回復したのか? 第 84 回日本公衆衛生学会総会ポスター (20251030) 静岡
77. 高橋宏和. リスク層別化がん検診の障壁と可能性. 第 34 回日本乳癌検診学会学術総会 シンポジウム (20241129) 高崎
78. 華井明子、街勝憲、清陽一、梅沢淳、金原理恵子、小手森綾香、齋藤英子、逸見治、堀芽久美、高橋宏和. 感染拡大特定警戒地域における BMI と身体活動の変化匿名特定健診データによる検討. 第 83 回公衆衛生学会総会口演評価のためのチェックリスト」による (20241030) 札幌
79. 岩佐詩織、渡邊哲也、小手森綾香、金原里恵子、中舘美佐子、石原淳子、齋藤英子、堀芽久美、街勝憲、華井明子、逸見治、清水陽一、高橋宏和. 新型コロナウイルス感染症の流行後に生じた日本人の食料支出の経年変化. 第 83 回公衆衛生学会総会 ポスター (20241030) 札幌
80. 男澤詩保里、岩本和雄、戸津玲、高橋宏和. 職域におけるがん検診の精度管理チャートの開発. 第 34 回日本産業衛生学会全国協議会ポスター (20241004) 木更津
81. 高橋宏和. 乳がん検診のプロセス指標目標値改正について. 第 32 回日本がん検診・診断学会総会 口演トピックス (20240928) 東京
82. 高橋宏和、竹田亮平. 介護 DB オープンデータを用いた直近 4 か年の介護認定新規申請者数の動向. 第 6 回日本在宅医療連合学会大会ポスター (20240722) 幕張
83. 高橋宏和. ポストコロナ時代のがん検診戦略. 第 63 回日本消化器がん検診学会総会 教育講演 (20240608) 名古屋
84. 藤谷幹浩、川嶋啓揮、高橋宏和. 先進的手法を用いた消化器がん検診の可能性. 第 63 回日本消化器がん検診学会総会 特別企画シンポジウム座長 (20240607) 名古屋

85. 高橋宏和. がん検診事業の現状と方向性. 第 33 回日本乳癌検診学会学術総会 シンポジウム (2023/11/25) 福岡
86. 笠原 善郎、安藝 史典、宇佐美 伸、大村 東生、隈 浩司、白岩 美咲、高橋 宏和、辻 一郎、角田 博子、中嶋 啓雄、増田 裕行、森田 孝子、山口美樹、山口由美. 第 13 回乳癌検診学会全国集計報告 2020 年度版 (292 施設) 事業評価の観点から日本乳癌検診学会全国集計委員会 第 33 回日本乳癌検診学会 学術総会 2023.11.24 福岡市
87. 笠原善郎、加藤久美子 シンポジウム 2: 多職種がささげるブレストアウェアネスの推進と課題. 「ブレスト・アウェアネス」誰が広げる、その考え方と実践 第 35 回日本乳癌検診学会 学術総会 2025.11.28 高知市
88. 中山富雄. HPV 検査単独法を対策型検診として行う意味合い. 会長企画 婦人科がん検診～次のステージへ～HPV 検査単独法について. 第 66 回日本臨床細胞学会総会、2025/6/29、口演、東京
89. 中山富雄. がん検診精度管理の方向性ー組織型検診を目指してー. シンポジウム 1 HPV 検査単独法による子宮頸がん検診 ～検診プログラムの精度管理について～. 第 64 回日本臨床細胞学会秋期大会、2025/11/29、口演、広島
90. 中山富雄. 肺がん検診のこれまでとこれから. 肺がん検診セミナー2025 基調講演. 第 66 回日本肺癌学会学術集会、2025/11/8、口演、東京
91. 中山富雄. 低線量 CT 肺がん検診の対策型導入への道筋: 他臓器検診から見えてくる新たながん検診の課題への対処. 特別企画 対策型低線量 CT 肺がん検診を成功させるために: その基礎と実践. 第 33 回日本 CT 検診学会学術集会、2026/2/13、口演、神奈川
92. 小林 望、山地大樹、中山富雄. 「血漿中アミノ酸濃度に基づく大腸がんスクリーニング検査精度に関する前向きコホート研究」ワークショップ I 上部消化管がん検診の現状と革新的未来. 第 63 回日本消化器がん検診学会総会 2024/6/7、口演、名古屋
93. 細野覚代、濱島ちさと、中山富雄. 利益不利益バランスによるがん検診の対象年齢設定. シンポジウム 38 科学的根拠に基づく大腸がん検診の効率的運用 第 83 回日本公衆衛生学会 2024/10/30、口演、札幌市
94. 榎本建志、細野覚代、三村麻子、宮澤 仁、町井涼子、山崎恭子、八巻知香子、中山富雄. 「患者・市民パネル」におけるリスク層別化がん剣士の受容可能性等に関する質的研究. 第 83 回日本公衆衛生学会 2024/10/31、ポスター、札幌市
95. 宮澤 仁、細野覚代、中山富雄. LDCT 肺がん検診導入に対する受容可能性調査ー対象外となる非/軽喫煙者の回答ー. 第 83 回日本公衆衛生学会 2024/10/31、ポスター、札幌市
96. 難波俊文、細野覚代、町井涼子、中山富雄. 対策型検診への HPV 検査導入において求められる情報提供とは: 混合研究法による検討. 第 83 回日本公衆衛生学会 2024/10/31、口演、札幌市
97. 中山富雄. がん対策推進基本計画からみたがん検診の精度管理. 肺がん検診読影セミナー 2023、第 64 回日本肺癌学会学術集会 2023 年 11 月 4 日、口演、千葉
98. 中山富雄. 低線量 CT 検診を日本で実装するためのロードマップ. ワorkshop 3 低線量 CT による肺癌検診ーガイドライン改訂と対策型検診への導入について. 第 64 回日本肺癌学会学術集会. 2023 年 11 月 2 日 口演、千葉

99. 中山富雄. がん検診とは何か? 国家的プログラムの要件. 第 32 回日本婦人科がん検診学会総会. シンポジウム 1 2023 年 10 月 14 日、口演、東京
100. 中山富雄. 子宮頸がん検診に関する最近の動向ー海外と日本ー 第 64 回日本臨床細胞学会春季大会 要望講演 4 2023 年 6 月 11 日、口演、名古屋
101. Tomio Nakayama. Prostate Cancer Screening Pitfalls From an Epidemiologist's Perspective. Symposium. How to avoid over-staging and over-treatment of prostate cancer?. 第 110 回日本泌尿器科学会総会. 2023 年 4 月 29 日、口演、神戸

G. 知的所有権の取得状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし